野焼きは火災の原因になるのでやめましょう！

野焼きは、延焼による**火災**のほか、地域住民への**迷惑**や観光地としての**イメージダウン**、**交通障害など**の原因にもなります。

稲わらやもみ殻は、秋のすき込みや堆肥化、園芸作物への活用や畜産農家へ提供することで、有効に活用できます。**稲わらやもみ殻を焼却せずに有機資源として活用し、環境と人にやさしい農業を行いましょう。**

＜稲わらのすき込みの方法＞

・すき込みは気温の高い10月中旬頃までに行い、耕深は浅めの5～10cmとしてください。

・すき込む際は、稲わらが露出しないようロータリ等で十分混和しましょう。

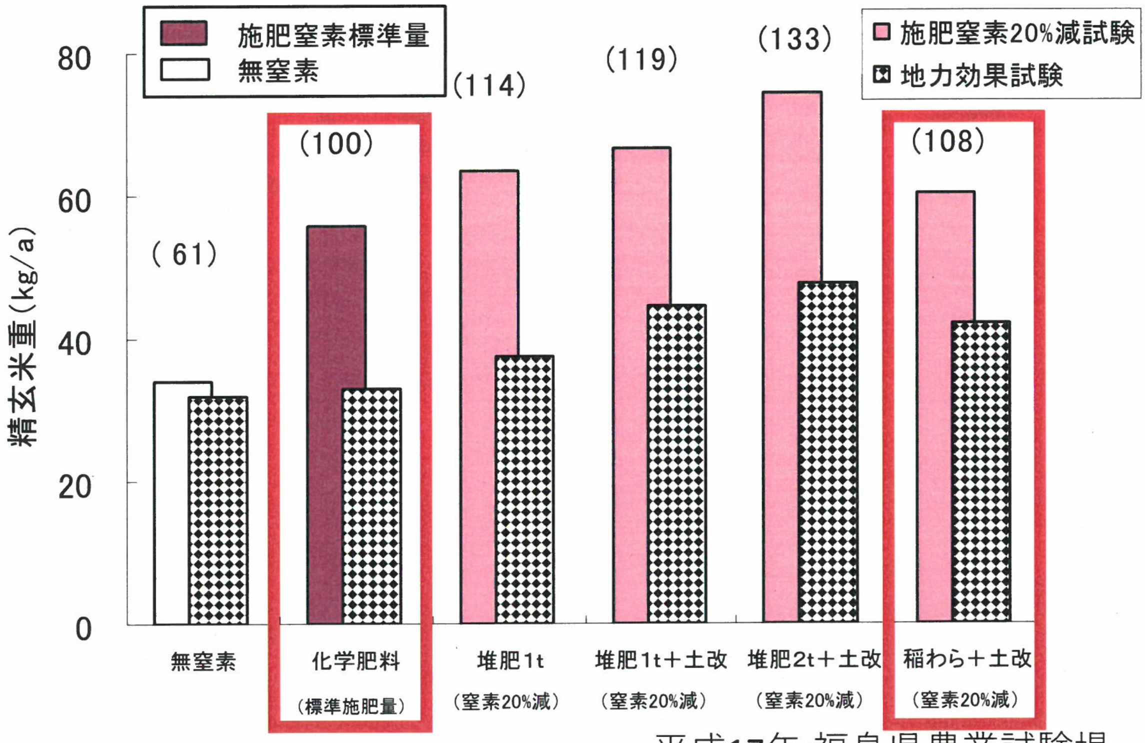
・腐熟を促進させるための資材（土壌改良資材や分解資材、石灰窒素等）を使いましょう。

＜稲わらのすき込み効果（※裏面参照）＞

・堆肥施用と同等の土づくり効果が期待できます。

・土壌の保水力や窒素供給力が向上し、米の収量向上に結びつきます。

喜多方市、北塩原村、西会津町、喜多方広域消防本部、
JA会津よつば、福島県会津農林事務所喜多方農業普及所



平成17年:福島県農業試験場

稲わらを連用し、土壌改良資材を施用した水田では、窒素施用量を20%減らしても、化学肥料のみの試験区と比べて8%の増収となりました。これは有機物連用によって地力窒素が高まり、水稲の窒素吸収量が増加したためと考えられます。

収量の増加が期待できます！

安全確認と予防対策で公道での農機による死亡事故を防ぎましょう！

安全フレーム、安全キャブ付きトラクタを使用し、低速車マークの設置、シートベルト・ヘルメット着用を徹底しましょう。